

テーマは「2025年農林業センサスからみた福島県の労働力の現状」

ポイント

2025年農林業センサス（以下「2025年」という。）によると、福島県の基幹的農業従事者数は、この10年間で39.0%減少し、4万人を割り込み3万9,663人となりました。この減少率は都府県平均の41.5%と比べて約2ポイント低く、減少幅はわずかに小さい状況にあります。

基幹的農業従事者の年齢別構成は、49歳以下の割合は8.5%と都府県平均を3ポイント下回っています。また、平均年齢は69.3歳で、都府県平均と比べて1.1歳高くなっており、福島県においては比較的高い年齢層によって農業生産が支えられている状況がうかがえます。

農業経営体の雇用の状況は、これまで農業生産基盤を支えてきた家族労働力が減少している一方で、雇用労働力が増加しています。

基幹的農業従事者数が10年間で約2万5,000人減少

表1 年齢階層別基幹的農業従事者数の推移（個人経営体）（福島県）

（人）

	計	49歳以下小計	15～19歳	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85歳以上
2015年	65,047	3,841	30	141	383	564	786	848	1,089	2,167	4,496	10,371	11,909	11,156	11,199	7,131	2,777
20-15 同階層増減差	△ 13,448	△ 306	△ 4	△ 44	△ 145	△ 111	△ 79	151	△ 74	△ 874	△ 2,025	△ 4,667	△ 573	△ 620	△ 3,484	△ 1,343	444
20-15 5歳スライド増減差				67	97	70	143	213	167	204	304	1208	965	△ 1,373	△ 3,441	△ 5,411	△ 3,910
2020年	51,599	3,535	26	97	238	453	707	999	1,015	1,293	2,471	5,704	11,336	10,536	7,715	5,788	3,221
25-20 同階層増減差	△ 11,936	△ 149	△ 11	△ 17	△ 72	△ 101	△ 37	△ 83	172	△ 49	△ 989	△ 2,503	△ 4,806	△ 543	△ 38	△ 1,961	△ 898
25-20 5歳スライド増減差					54	69	114	217	209	188	229	189	730	826	△ 1,343	△ 2,859	△ 3,888
2025年	39,663	3,386	15	80	166	352	670	916	1,187	1,244	1,482	3,201	6,530	9,993	7,677	3,827	2,323
増減率(%)																	
15-20年	△ 20.7	△ 8.0	△ 13.3	△ 31.2	△ 37.9	△ 19.7	△ 10.1	17.8	△ 6.8	△ 40.3	△ 45.0	△ 45.0	△ 4.8	△ 5.6	△ 31.1	△ 18.8	16.0
20-25年	△ 23.1	△ 4.2	△ 42.3	△ 17.5	△ 30.3	△ 22.3	△ 5.2	△ 8.3	16.9	△ 3.8	△ 40.0	△ 43.9	△ 42.4	△ 5.2	△ 0.5	△ 33.9	△ 27.9

福島県の2025年の基幹的農業従事者数は3万9,663人で、2020年農林業センサス（以下、2020年という。また2015年農林業センサスを2015年という。）に比べ1万1,936人（23.1%）減少しています。2015年からは2万5,384人（39.0%）の大幅な減少となっています（表1）。

図1の調査年別に年齢別の推移をみると、グラフの山が右に移動（高齢化が進展）しているとともに、下にも移動（従事者数も減少）しています。

49歳以下の基幹的農業従事者は、3,386人で2015年に比べ455人（11.8%）、2020年に比べ149人（4.2%）減少しました。構成割合は、8.5%と都府県平均を3ポイント下回っています（表1、図1、2）。

図1 年齢別基幹的農業従事者数の推移（個人経営体）（福島県）

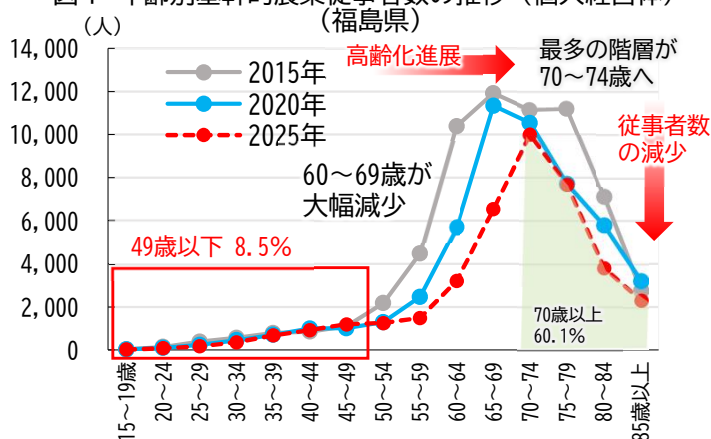
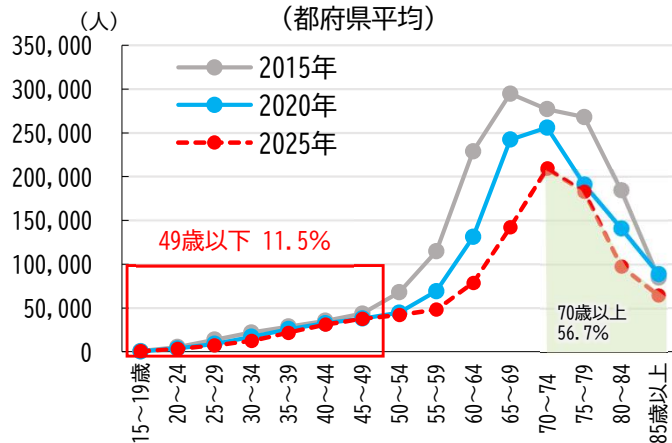


図2 年齢別基幹的農業従事者数の推移（個人経営体）（都府県平均）



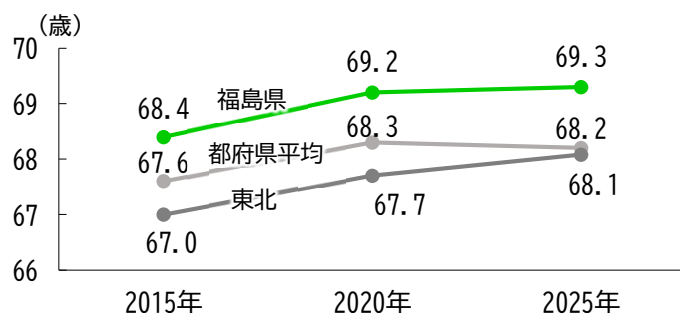
用語解説

◆基幹的農業従事者とは
調査期間前1年間で自営農業を主な仕事としている世帯員をいう。



福島県の基幹的農業従事者数の平均年齢は、69.3歳でわずかに上昇

図3 平均年齢の推移（基幹的農業従事者）（福島県）



福島県の基幹的農業従事者の平均年齢は69.3歳で、都府県平均に比べて1.1歳高くなっています。

また、都府県平均は2020年から0.1歳低下している一方、福島県では0.1歳上昇しています。

全国農業地域別に平均年齢をみると、北海道、東北、四国、沖縄以外の農業地域では下がっており、高年齢層のリタイヤが進んでいることが影響していると考えられます。

これらのことから、福島県では都府県と比べて高い年齢階層の基幹的農業従事者がリタイヤする割合が小さく、多くが農業生産の担い手として引き続き役割を果たしていると考えられます（表2、図3）。

表2 平均年齢の推移（基幹的農業従事者）
（全国農業地域）

	2020年	2025年	20～25年	
全国	67.8	67.7	-0.1	↓
北海道	58.5	58.8	0.3	↑
都府県	68.3	68.2	-0.1	↓
東北	67.7	68.1	0.4	↑
北陸	69.7	69.4	-0.3	↓
関東・東山	67.9	67.8	-0.1	↓
東海	69.0	68.5	-0.5	↓
近畿	69.2	69.1	-0.1	↓
中国	71.7	71.6	-0.2	↓
四国	68.8	68.8	0.0	→
九州	66.4	66.3	-0.1	↓
沖縄	65.9	66.3	0.4	↑



福島県の85歳以上の階層 減少に転じる

福島県の年齢別基幹的農業従事者の増減率の推移をみると、2020年の40～44歳から2025年の45～49歳に、年齢階層の移行に伴って増加しています。

これは45歳未満を主な対象とする認定新規就農者制度が、平成26年度に創設されて以降、認定新規就農者数が増加していることとの関連も考えられます。

一方、2020年で大きく減少していた50～64歳の層が、2025年にはそのまま5歳スライドして大きく減少しています。さらに、平均年齢を上回る80歳以上の層でも減少幅が大きく、2020年で増加していた85歳以上層（昭和15年以前生まれ）が減少に転じました（図4）。

都府県の推移を見ると、50歳以上の動きは福島県と同様ですが、49歳未満の動きにはやや異なる部分があります（図5）。

図4 年齢別基幹的農業従事者の増減率の推移（福島県）

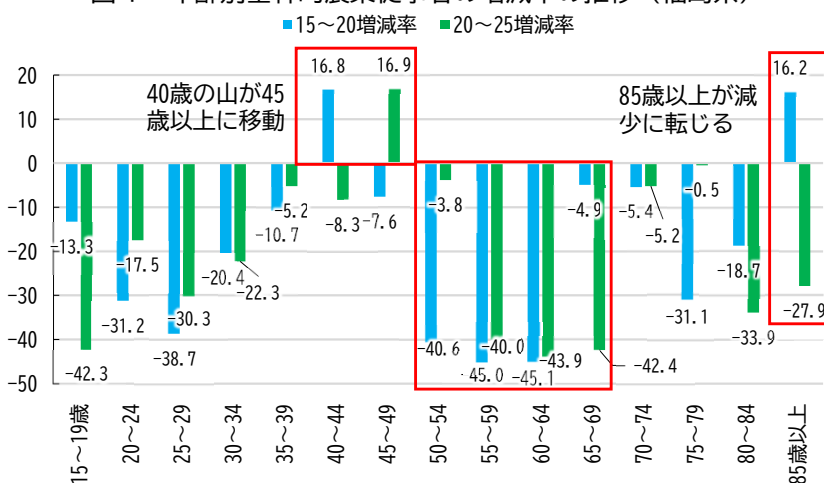
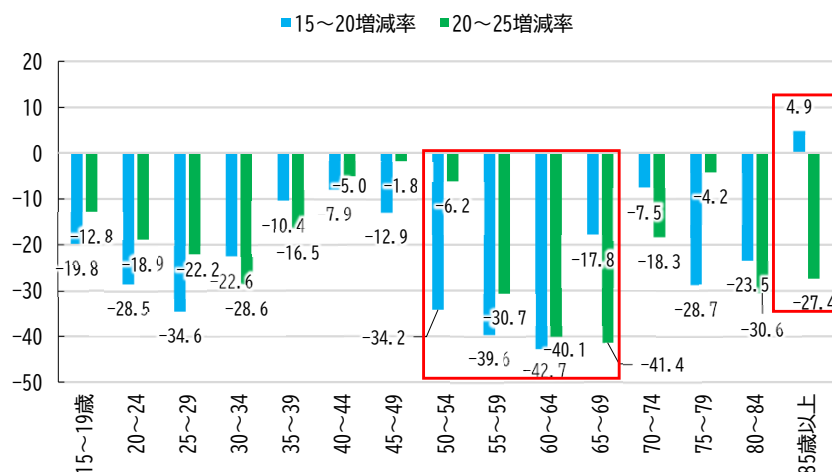


図5 年齢別基幹的農業従事者の増減率の推移（都府県平均）



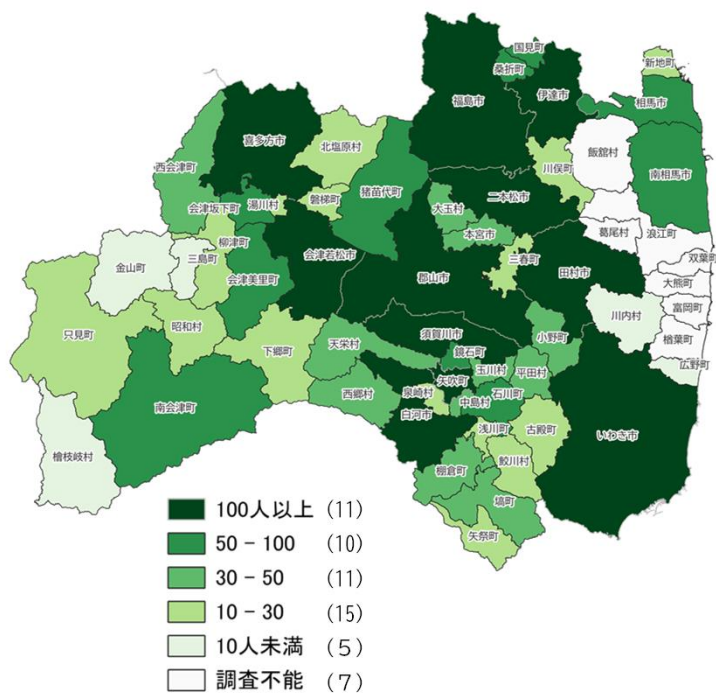


49歳以下の基幹的農業従事者割合10%以上の市町村数が15に増加

市町村別に49歳以下の基幹的農業従事者数をみると、2015年と比べ中通りの市町村で減少している市町村が多くなっています。

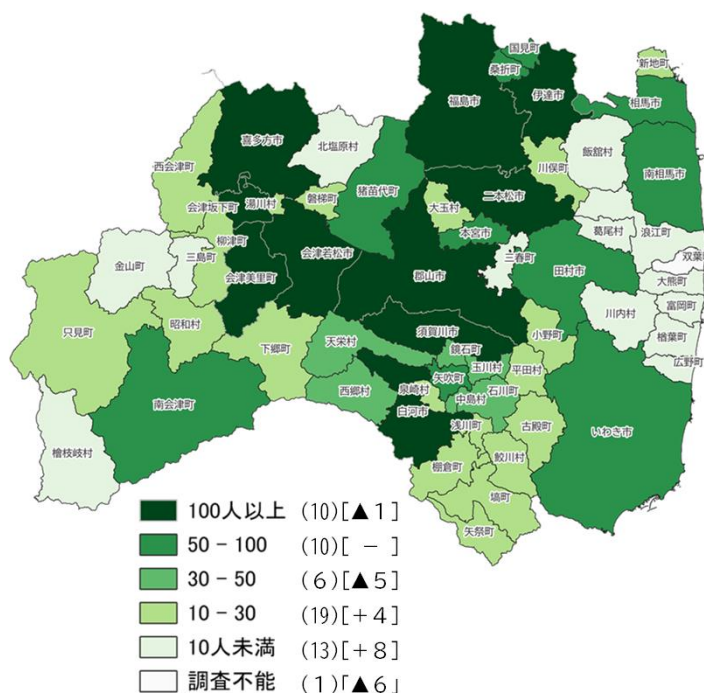
一方、基幹的農業従事者のうち49歳以下の割合をみると、2015年と比べ10%以上の割合となった市町村が大幅に増加しています。これは、図1から見て分かるように、50歳以上の減少数が49歳以下の減少数より大きいことが、要因と考えられます（図8～11）。

図8 49歳以下の基幹的農業従事者数（福島県）
（2015年）



注1：2015年の市町村別の数値は、販売農家。
2：10人未満には、「秘匿」を含む。
3：凡例の（ ）は市町村数である。

図9 49歳以下の基幹的農業従事者数（福島県）
（2025年）



注：[]は2015年対比の増減差。

図10 49歳以下の基幹的農業従事者数割合（福島県）
（2015年）

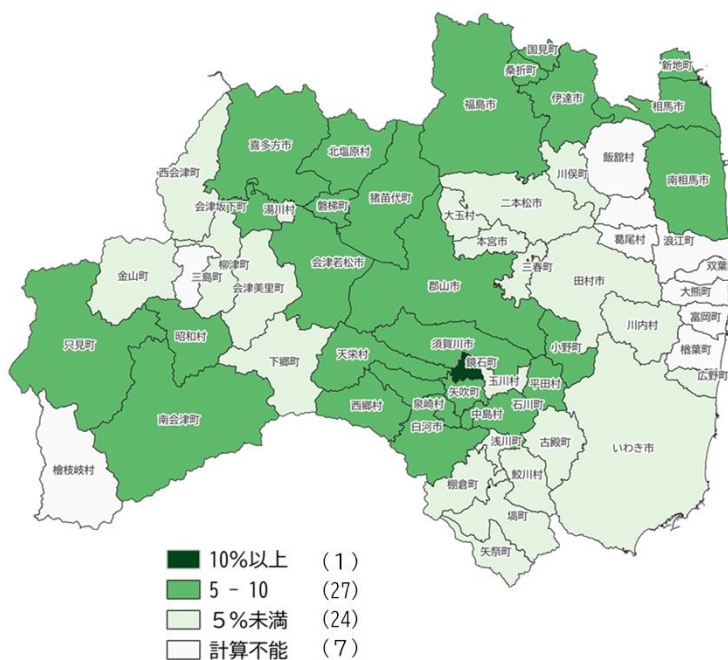
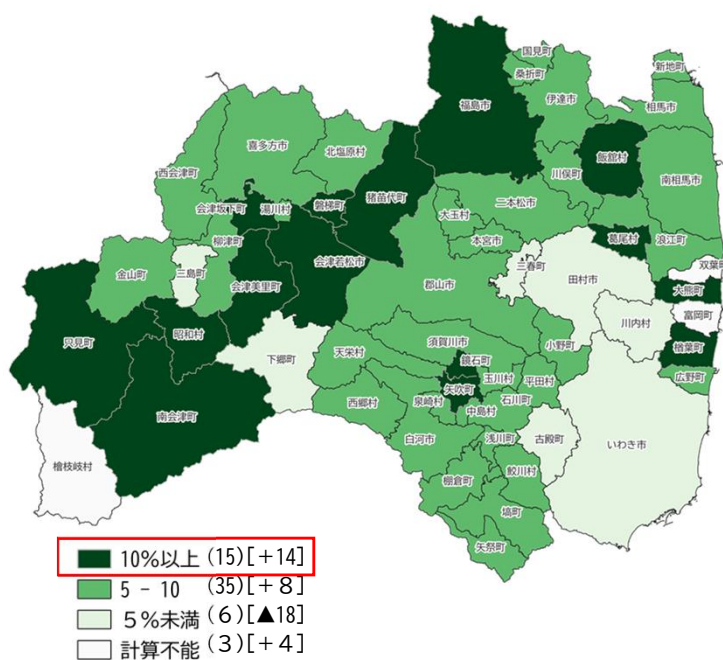


図11 49歳以下の基幹的農業従事者割合（福島県）
（2025年）





農業経営体で雇い入れた経営体は、個人経営体で約2割、団体経営体で約7割

福島県におけるの農業経営体で、雇い入れた農業経営体の数は、7,054経営体で全農業経営体数の21.3%であり、都府県平均の26.6%を5.3ポイント下回っています。

2015年との比較において、雇い入れた経営体割合は2.6ポイント上昇しており、常雇い及び臨時雇いとも延べ人日数がかなり増加しています（表3、4）。

福島県の個人経営体の農業従事者数（家族労働力）は、2015年の14.2万人から2025年の7.4万人に47.9%減少しています。これは都府県平均49.3%と比べて1.4ポイント低く、減少幅はわずかに小さくなっています。

一方で、常雇いと臨時雇いを合計した延べ人日は、都府県平均が2015年に比べ3.7%減少したのに対し、福島県では9.8%増加しています（図12、13）。

以上から福島県では、個人経営体の大幅な減少により基幹的農業従事者を含めた家族労働力の減少が続いていることから、不足する労働力を補うため雇用労働力が増加しており、農業労働力構造の変化が進んでいることがうかがえます。

表3 農業経営体の雇用の状況（福島県）

2025年	農業経営体数	常雇い+臨時雇い		常雇い		臨時雇い	
		雇い入れた実経営体数	割合	農業の延べ人日	雇い入れた実経営体数	農業の延べ人日	雇い入れた実経営体数
農業経営体	33,131	7,054	21.3	1,420,727	1,241	818,347	6,455
個人経営体	32,093	6,331	19.7	668,194	757	251,724	5,926
団体経営体	1,038	723	69.7	752,533	484	566,623	529

2015年	農業経営体数	常雇い+臨時雇い		常雇い		臨時雇い	
		雇い入れた実経営体数	割合	延べ人日	雇い入れた実経営体数	延べ人日	雇い入れた実経営体数
農業経営体	53,157	9,937	18.7	1,294,309	894	724,422	9,618
個人経営体	52,398	9,381	17.9	608,432	580	197,959	9,185
団体経営体	759	556	73.3	685,877	314	526,463	433

注：2025年の経営形態にあわせるため、福島県拠点において、2015年の家族経営体から一戸一法人の経営体を除いたものを「個人経営体」とし、組織経営体に一戸一法人の経営体を含めたものを「団体経営体」とした。

表4 農業経営体の雇用の状況2025年（都府県）

2025年	農業経営体数	常雇い+臨時雇い		常雇い		臨時雇い	
		雇い入れた実経営体数	割合	農業の延べ人日	雇い入れた実経営体数	延べ人日	雇い入れた実経営体数
農業経営体	806,855	214,799	26.6	58,549,370	51,877	39,477,860	186,835
個人経営体	771,080	190,722	24.7	28,548,591	35,642	14,631,014	170,698
団体経営体	35,775	24,077	67.3	30,000,779	16,235	24,846,846	16,137

用語解説

- ◆農業従事者とは
調査期間前1年間で、自営農業に従事した15歳以上の世帯員
- ◆常雇いとは
農作業のため7か月以上の契約で雇った人
- ◆臨時雇いとは
日雇、季節雇い、手伝い、研修など

図12 農業経営体（個人経営体）の労働力の推移（福島県）

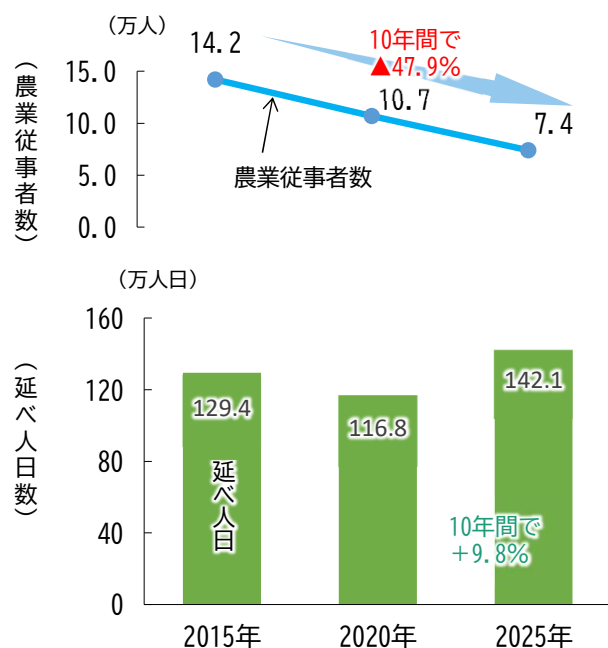
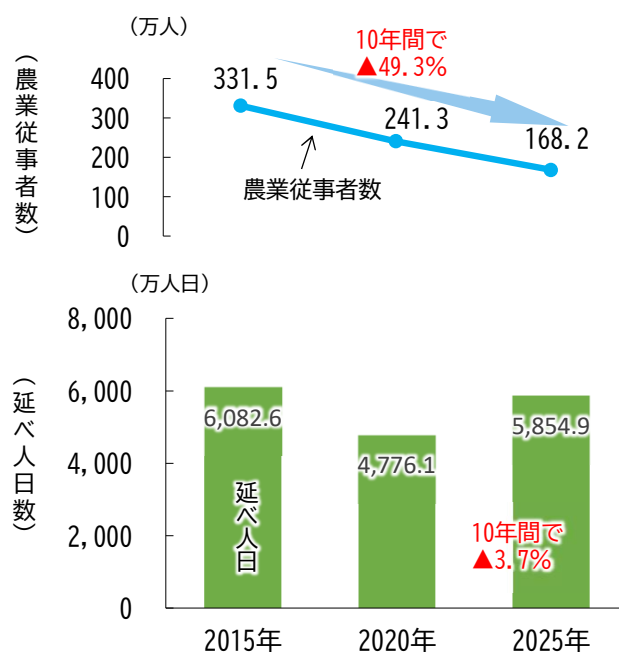
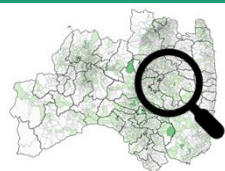


図13 農業経営体（個人経営体）の労働力の推移（都府県平均）



- お問い合わせ - 東北農政局 福島県拠点 地方参事官室 分析担当 電話:024-534-4142



「福島県農業の現状」知りたいことがわかる

「地域の農業を見て・知って・活かすDB」で掲載しています。

統計データ等の活用支援（地域農業の見える化）など

お気軽にご相談ください。



福島県拠点の
Webサイトは
こちら→

